

授業科目	* 母性看護学実習 (2021 年度入学生)				単位	2		
履 修	必修	関連資格	高一種免(看護) 養教一種免		ナンバリング	NU31308J		
開講年次	3~4	開講時期	後期・前期	該当DP	DP2-1 DP3-1 DP3-2 DP4-1 DP4-2 DP4-3 DP5-1 DP5-2			
担当教員	古賀 玉緒、山田 恵、前田 幸、新郷 朋香							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>周産期やライフサイクル各期の特徴を理解し、対象の健康状態に応じた看護を実践できる能力を養うことを目的に臨床実習を行う。</p> <p>実習指導を担当する教員は全て実務経験があり、目的達成に向け、指導者と調整を図り指導にあたる。</p>							
学生が達成すべき行動目標	実習要項参照							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	60	0	0	40	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)			10				10	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)						5	5	
関心・意欲 (DP3-2)						5	5	
態度(DP4-1)			5			10	15	
態度(DP4-2)			10			10	20	
態度 (DP4-3)			10				10	
技能・表現 (DP5-1)						5	5	
技能・表現 (DP5-2)			25			5	30	
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
標準的なレベルの到達したうえで、母性看護に携わる人々と主体的にコミュニケーションをはかり倫理原則をふまえて対象をよりよい状態へ導くための支援を提供できる。 根拠をふまえて自分の意見をのべることができる。				1. 母性看護における対象の身体的・心理的・社会的特徴を理解し、根拠に基づいた看護過程を展開できる。 2. コミュニケーションを通して母性看護に携わる人々と意欲的に連携しながら実習に取り組むことができる。 3. 看護実践者として、倫理的態度で対象の人権を尊重した行動ができる。 4. 母性看護における看護者の役割を理解できる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)	

1	3 年次後期から 4 年次前期にかけて、指定された 病院で 2 週間の実習を行います。 実習内容およびスケジュールの詳細は実習要項を参 照してください。			
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				

24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	母性看護領域のみならず、他領域においてこれまで学習したことも併せて復習しておきましょう。 なお、「母性看護方法論」、「母性看護学演習」で配布された資料も学習教材として活用して実習に臨んで下さい。			
テキスト	森恵美著:系統看護学講座 母性看護各論 母性看護学[2] 医学書院 第13版 2020 荒木奈緒他編:ナースング・グラフィカ母性看護?母性看護技術 メディカ出版 第5版 2022 上田森夫他編:病気が見える VOL10 産科 第4版 MEDIC MEDIA 2018 太田操著:ウエルネス看護診断にもとづく母性看護過程 第3版 医歯薬出版 2017			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	井上裕美他編:病気がみえる VOL 婦人科・乳腺外科 第4版 MEDIC MEDICA 2018 村越毅編:ペリネイタルケア 2018 年新春増刊 術前・術中・術後のアセスメント&ケアを時系列で網羅! 帝王切開バイブル メディカ出版 2018 平澤美恵子他監:写真でわかる母性 看護技術アドバンス インターメディカ 2017 石村由利子編:根拠と事故防止から見た母性看護技術 第3版 医学書院 2020 他、適宜紹介します。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃からメディアや新聞をとおして、妊産褥婦や新生児に関する情報を把握しておきましょう。</li> <li>・実習中は母子の安全に配慮するためにも、「感染予防ガイドライン」を遵守し感染予防を心がけましょう。</li> </ul>			
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	評価は、レポート(実習記録の内容)、その他(実習態度、実習取り組み姿勢など)について実習評価表に基づいて行います。なお、レポートは随時コメントし返却します。			

